

「ITを使った授業」実践体験セミナー実施案内

セミナーの特徴

最近流行りのIT活用授業。

けど、パソコン操作を今から習うなんて面倒くさいし、ましてやパソコンで教材準備なんて考えただけでも気が遠くなる。そもそも、実際にどんな風にやっていいものやら？

このセミナーはそういう先生を対象に、専門的な技術を持ったNPOスタッフといっしょに授業イメージを話し合いながら、必要な技術を自然と習得しつつ、実際にIT活用授業を実践的に体験していただくセミナーです。

スケジュール及び参加者

別紙のとおり

プログラム例

このセミナーの目的は「技術の習得」よりも「新しい授業の体験」です。

セミナーの中身は先生の希望や技術レベルにあわせ、先生といっしょに作りこみますので、あらかじめ決まったプログラムというのはありません。以下は標準的なプログラムの一例です。

（第1段階）プレスト

「どんな授業をしたいと思っているのか、どんな教材をどう使いたいのか」を相談し、決めていきます。検討事項は概ね次のとおりです。

授業テーマ

授業の展開イメージ

最終的には指導案に

時間数

使用する教材イメージと素材イメージ 教材案に

使用する媒体及びネット利用の有無

環境設定の有無と内容

（第2段階）指導案と教材案の作成

プレストで粗い方針が出た上記項目を指導案と教材案にまとめていきます。この段階での教材案は、A4 1枚程度の手書きメモで十分です。

ポイントは、使用したい素材（テキスト、画像、ホームページなど）の具体的なイメージ出し（インターネットでの情報検索も行います。）とその配置、展開方法（紙芝居方式でやるのか、一覧方式でやるのかなど）です。これらをメモにまとめる一方、使用する編集ソフトを選択します。（時間内に作成できない場合は、宿題になります。）

(第3段階) 素材検索、デジタル化、編集作業

使えそうな素材(写真、図表、テキスト)をインターネットや図書から集めます。図書にある資料はスキャナーで取り込み、画像データとして使用します。実際に使用する素材はほんの一部ですが、できるだけ広範囲に検索し、より質の高い素材を集めてみましょう。

集めた素材は、紙芝居の要領で編集ソフトを使い、編集していきます。最も人気のある編集ソフトは、マイクロソフト社製のパワーポイントというプレゼン専用ソフトですが、ワードでも、エクセルでも、あるいは写真閲覧ソフトでも教材編集は可能です。

(第4段階) 教材完成、テスト

文字サイズを変えたり、アクションや音響をつけたり、単に写真を順番に並べるのではなく、目や耳に訴えるよう、いろいろ工夫してみてください。

いよいよ教材が完成したら、実際にプロジェクターに映しだしてみましょう。パソコンの画面で見た感じとプロジェクターで映した感じがかなり違うことが実感できるはずです。

日程が十分にとれない方は、第2段階、第4段階を自宅で行っていただき、第1、第3段階を受講していただきます。最終の教材完成は2学期中を目標にします。

お問合せ先

電子メール又は電話でご連絡ください。

担当 勝井健二

NPO法人マルチメディア・エデュケイショナル・フォーラム

メール KatsuiK@

電話 080-5716-3203